

平成28年度 自己評価書

学校名	和歌山市立 山東小 学校
校長氏名	栗本 昌彦
作成日	平成 29 年 1 月 24 日

1 教育目標

豊かな情操と知性を身につけ、実践力を持つ心身共に健康な子どもの育成

2 本年度の取組についての評価

	開かれた学校	ゆたかな心	確かな学力
重点目標【P】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の中の学校として、地域から信頼される学校づくりを進めるとともに、必要な情報を公開する。 ○地域の文化・人材を活用した幅広い学習をめざし、地域諸団体と連携した学校づくりを進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級経営の重点として、子どもたち一人ひとりが大切にされ、自尊感情が高められるような指導を推進する。 ○読書に親しみ、心情深く読み取る指導を深める。 ○特別支援教育的視点を大切に授業や教室経営を心がける。 ○運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに、子どもたちの体力向上を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「みんなでささえあい、ひびきあえる学習をめざして」を研究主題とした国語科を中心とした研究を深める。 ○漢字の博士検定に取り組み、基礎学力の向上を図る。 ○特別支援教育の視点を取り入れた授業改善を推進する。

取組の状況【D】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりやホームページなどで学校の取り組みや様子を地域の方々にも知ってもらえるように取り組んだ。 ○5年生が地域の方々からの支援を得て、防災マップをつくり、防災祭で発表した。 ○子どもセンター事業において、地域諸団体が輪番で主催事業を実施し、子どもたちにスポーツ、文化的イベントに親しむ機会を提供していただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任は子どもたちのよいところを見つけ、励ましながら心を育めるようにした。 ○図書ボランティアの募集を行い、図書室の整備を支援していただくことにより読書に親しみやすい環境づくりを行った。 ○子どもの生育歴や生活環境等の課題を教職員で共通理解するように努め、専門機関と連携しながら自尊感情を高められる指導・支援に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年ごとの研究授業を計画的に実施し、市教育委員会の客員指導主事に毎回来てもらうことにより教員の授業力向上に努めた。 ○全国学力・学習状況調査の結果に鑑み、「山東タイム」や放課後の学力フォローアップタイムにより子どもたちの学力補充を行った。
取組の成果と課題【C】	<ul style="list-style-type: none"> ○学校だよりを支所を通じて地域に配布し、学校のことを知ってもらいやすくなったが、どれだけの方が読んでいただけているのが把握できていない。 ○防災祭は562人の参加者があり、盛況で市長も来られた中、子どもたちはしっかりと発表できていた。 ○子どもセンター事業では、さまざまな講師に来ていただき、子どもたちはよい体験をすることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学級担任は児童に豊かな心を育てるよう、成育歴や生活環境等をふまえながら一人ひとりの心育に努めたが、心育がうまくいかない状況もあった。 ○読書を通して豊かな心も育てるよう努めたが、新しい書籍を買い足す予算が少ないので、古い図書が多く残っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研修では、市教育委員会の客員指導主事の先生方からさまざまな助言をいただくことにより教員の授業力向上につなげた。課題としては、国や県の学力テストの得点アップにつなげたい。 ○家庭学習にあまり取り組まない子どもたちもめだち、山東タイムや放課後フォローアップでの学力補充である程度の成果が見られた。
次年度に向けての改善方法【A】	<ul style="list-style-type: none"> ○地域諸団体や育友会との連携の中で、学校を地域や保護者に知っていただく機会を工夫していく。 ○子どもセンター、見守り隊等、地域の皆さんに対し、子どもたちの感謝の気持ちを表す集会等を計画する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○今年度の取組をさらに進めると共に、豊かな心を育む教育課程を再検討し、道徳と特別活動の効果的な指導計画を研究し、実践に移していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き市教育委員会の客員指導主事先生等外部から講師として来ていただき、子どもたちの学力を向上させるための助言をいただく。 ○全国や県の学力テストの結果分析を進め、弱点補強の取組の方向を明確にして、指導計画・指導方法を改善する。

3 その他の課題

--